

■地球温暖化防止分野ワーキングチーム（事例報告）

発表テーマ	テーマ概要	主な意見(有識者等)	備考
1 ガラス製造に伴うCO2排出量削減 ～重油燃料のLNG転換～	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 安全・品質・コストはもちろん、エネルギー使用と地球温暖化防止対策も同等に重要という意識のもと、事業展開している。</li> <li>* C重油をLNG(液化天然ガス)に転換することで、理論値でCO2排出係数を28%削減できる試算であったが、2016年実績では、CO2排出量を2013年比で23%削減した。</li> <li>* LNG転換に向けては、計画から完成までに3年を要した。LNGを供給するインフラが工場周辺に整備されていなかったため自社で行った。</li> <li>* LNGの価格変動と安定供給は自社でコントロールのできない課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、C重油の生産量は減少傾向にあり、二酸化炭素排出係数のより低いLNG(液化天然ガス)に転換したことは賢明な判断と思われる。</li> <li>・CO2を削減する方法として、設備の効率化も有効。高効率バーナーへの変更や、煙道における排熱利用施設の設置などがある。</li> <li>・LNGは埋蔵量が多く、アラスカ、ロシア等輸出国も増えており、今後、価格や供給は安定すると思われる。</li> </ul>	我が国の天然ガス及びその供給基盤の現状と課題【資源エネルギー庁】 <a href="http://www.meti.go.jp/committee/sougouenergy/sougou/kiban/seibi/001_06_00.pdf">http://www.meti.go.jp/committee/sougouenergy/sougou/kiban/seibi/001_06_00.pdf</a>
2 省エネ活動の推進(CO2の排出削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域の自然環境を守る、出来るだけ廃棄物を出さない、もったいないという気持ちで資源の有効利用に取り組んでいる。</li> <li>* 事業において食用油を多く使うが、安全性の面から火を使わず蒸気によるフライヤーを使用しているため、多量の電気、重油を使用する。</li> <li>* 蒸気配管の保温、蒸気ドレンの回収は以前から行っていたが、蒸気ボイラーに温水を供給することで重油使用量を前年比で8.3%削減した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の電気、重油ともに使用量が多いので、今後、温暖化対策を進める上で、LNGへの転換なども検討材料にされるとよい。</li> <li>・温水ボイラーが稼働していない時は、給水タンク等に電気式ヒートポンプを設置するのも有効である。</li> </ul>	事業者のためのCO2削減対策Navi【環境省】 <a href="http://co2-portal.env.go.jp/">http://co2-portal.env.go.jp/</a>
3 LED照明の普及による省エネルギー対策と環境対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 1例としてオフィスの蛍光灯2500本をLEDに交換したところ、初期費用1200万円であったが、2.6年で投資費用を回収、年間でCO2を69.1%削減した。</li> <li>* LED化にあたっての提案は、コストや施工、廃棄物処理を含めて包括的に行っている。</li> <li>* 蛍光管の廃棄については特に注意が必要となっている。2018年4月から大気汚染防止法改正により、大気中への水銀排出規制がされることとなり、同10月から蛍光管は水銀含有廃棄物としての処理が必要になる。</li> <li>* 蛍光管は破碎後、金属とガラスに選別し、金属はリサイクル、ガラスは焙焼工程で水銀蒸気を回収後、断熱材やセメント原料にリサイクルしている。</li> <li>* 水銀は安全な硫化水銀として自然に帰すことが検討されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ診断で投資効果が最も大きいとされているのは照明機器のLED化である。</li> <li>・LEDの寿命は4万時間と非常に長い上、一般的に白熱灯は1年程度、蛍光灯でも2～3年で投資費用が回収できるとされている。すぐに効果があるので進めてほしい。</li> </ul>	ESCO事業とは【(一社)ESCOエネルギーマネジメント推進協議会】 <a href="http://www.iaesco.or.jp/esco/">http://www.iaesco.or.jp/esco/</a> LED照明推進協議会HP <a href="http://www.led.or.jp/index.htm">http://www.led.or.jp/index.htm</a>
4 ～環境意識を高める～環境社会検 定試験(エコ検定)の取得で企業内、 家庭内での環境意識の高まりを実感	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 環境意識の高まりに伴い、ビジネスと環境との相関を説明できる能力が求められる今、エコ検定の受検を推進している企業が増えている。</li> <li>* 合格者に手当を支給するなどして会社を挙げてエコ検定の受検を推進している。合格することはもとより、社員が受検することを切っ掛けに環境意識が向上していると感じている。</li> <li>* エコ検定を受検した社員が増えることで、社内だけに留まらず家庭や地域における環境意識向上にも寄与していると思っている。</li> <li>* 一例として、エコ検定を推進してから、社員が自主的にエコドライブを実践する等の姿勢が見られるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ検定は社会人だけでなく、学生の受検者も多い。就職活動や、学習の到達度を計るために活用されており、今後更に普及するものと思われる。</li> <li>・以前に比べ、社会の環境意識の向上を感じるが、本事例のように企業を上げて積極的に取り組んでいる姿勢には感銘を受けた。この取組が、今後、中丹地域全体に広がっていくことを期待する。</li> </ul>	eco検定(環境社会検定試験)とは【東京商工会議所】 <a href="http://www.kentei.org/eco/">http://www.kentei.org/eco/</a>